

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-1-2	事務事業名 保谷中学校体育館等建替事業	所管部課 学校教育部教育庶務課
---------------	------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 西東京市都市計画街路3・2・6号線整備事業に係る用地を売却し、それに伴い、体育館とプールを建替える。 事業費に関しては、全て東京都の用地買収等の補償費にて対応。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)校舎等の建替
	実施内容、実施方法 平成16年度 地質・測量調査、基本設計、実施設計 平成17年度 用地買収、解体工事、仮設・本設体育館建築工事 平成18年度 体育館・プール完成、仮設体育館解体工事	根拠法令等
	事業開始時期 平成16年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 定例打合せ会の回数	活動指標の考え方(定義) 設計の受注業者との定例打合せ会の回数
	成果指標名 設計等業務の進捗率	成果指標の考え方(定義) 地質・測量・設計業務が進捗した割合

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	3,329	19,102
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源				3,329	19,102
	所要人員(B)	人			0.05	0.03
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	416	250
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	3,745	19,352
	単位当たりコスト (E)=(D)/(定例打合せ会の回数)	千円	0	0	1,872.70	
	歳入	千円				
	活動指標	目標値	回			20
実績値		回			2	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	%			100	100
	実績値	%			35	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	建替事業による近隣居住者の生活環境の変化に係る要望。 36m道路が出来る事による環境汚染に係る体育館の騒音・換気対策の要望。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	他の自治体においても、類似事業あり。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	単位当たりコストは、地質・測量調査、設計等の事業費を定例打合せ回数 で除したものである。

コード 12-1-2	事務事業名 保谷中学校体育館等建替事業	所管部課 学校教育部教育庶務課
---------------	------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	当初予定では、16年度に基本・実施設計を完了する予定であったが、東京都の財政事情により、用地取得が18年度に先送りされたため、基本・実施設計業務が17年度へと繰り越された。ただし、地質・測量業務は予定通り16年度に執行された。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input checked="" type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	東京都の用地取得年度が先送りされたことにより、地質・測量調査には支障が無いが設計業務に関しては16年度に実施する必要性は無い。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	本事業は、東京都の道路に関する用地買収事業であり事業費については全額東京都の補償金により支払われる。設計業務に関する落札比率は適切であった。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	設計の入札については、競争入札を行っており公平性が保たれている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	当初予定の業務を約35%位しか実施できず残念であった。

17年度における改善点	17年度に行う実施設計において、交通量増加に伴う環境汚染による普通教室空調設備設置及び近隣住民に配慮した設計の検討を必要とする。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。